

肉製品、乳製品製造業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	10~11	充填室の入口周辺にて、キャスター付きの台車を押して移動している際に、話しかけられ立ち止まり話をしていたところに、原料肉を載せたワゴン（ミートワゴン、キャスター付き）を移動中の社員が気づかずに後部から衝突し左腰を打撲した。	57	300～499
7	13~14	工場内でごみが入った大型の箱がキャスター付きの台車から落ちてきたため、とっさに抑えようとしたところ箱重量に耐えきれず尻もちをついてしまい、胸椎の骨折および左足首を捻挫した。	59	—
7	17~18	派遣先事業所において、ブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。	32	100～299
9	11~12	食品加工工場内でキャスター付給水ポンプを手で押して移動させていたところ、床面のはがれた窪みにキャスターが引っかかった、抜け出そうと手で押したり引いたりしていたところキャスターのナットに緩みがあったため、キャスターのボルトが1本架台から抜け落ち、架台が傾き右足の指の付け根付近を直撃した。この時、ポンプが重量物であったため、挫創骨折した。	39	50～99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html